様式1-28（特別支援学校助教諭（看護教員以外・講師含む）用） （様式Ａ３判）

**令和　　年度　　　自　己　評　価　シ　ー　ト**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学校名 |  | 職名 |  | 氏名（年齢） | （　　歳） | 職員番号 |  | 在職年数（現所属） | 年（　　） |
|  | | | | | | | | キャリア段階 | Ⅰ　Ⅱ　Ⅲ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ｢目指す学校像｣ | | |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価領域 | | **目　　　　　標　　　　　及　　　　　び　　　　　実　　　　　績** | | | | | | | | | | | | | | **行動プロセス** | | **自　　　己　　　評　　　価** | | | |
| 当　　　初　　　申　　　告 | | | | | | | 達　成　状　況　申　告 | | | | ※修正申告 | | | 行動プロセスに関する着眼点 | | 所見・特記事項 | 評価 | ※修正評価 | |
| 困難度 | | 今年度の目標 | 方　　　　　策  （目標達成に向けた具体的な手順や時期等） | | | | 目標の達成状況・方策の取組状況  次年度への課題 | | 達成度 | | 修正内容 | | 達成度 | （評価の理由を記するとともに、特筆すべき実践がある場合はその事実を記入する） | 修正理由 | 評価 |
| Ⅰ  教科指導等  指導計画の作成・改善  学習指導と評価 | |  | |  |  | | | |  | |  | |  | |  | ・保護者や関係機関と連携し、幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた具体的な指導計画等を作成している。  ・授業の充実を図るため、他の教諭と連携しながら常に教材研究に努めている。  ・幼児児童生徒の実態やニーズを踏まえて指導目標を設定し、年間を通じて計画的に授業を進めている。  ・保護者と連携しながら、適宜、指導計画を見直し、工夫・改善を行っている。  ・指導方法や教材・教具の工夫等により、幼児児童生徒の学習意欲を高めている。  ・幼児児童生徒の実態に即した指導が行われ、指導内容は適切である。  ・学習指導に関する知識･技能が発揮され、幼児児童生徒の理解を促進している。  ・指導と評価の一体化を図り、他の教諭と連携しながら学習指導の工夫・改善に努めている。 | |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] | | | | |
| Ⅱ  学部・学年・学級経営・生徒指導等  学部・学年・学級経営、生徒指導、進路指導、特別活動等 | |  | |  |  | | | |  | |  | |  | |  | ・教員間で学部・学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。  ・教育相談的な対応に心がけ、個々の理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。  ・活動内容や指導方法を工夫し、幼児児童生徒の能力を高め、特性を発揮させている。  ・生徒の実態に応じ、卒業後の生活を考慮に入れた進路指導を行っている。  ・家庭や地域、関係機関と連携し、組織的な対応に努めている。 | |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] | | | | |
| Ⅲ  その他の  校務等  校務分掌等 | |  | |  |  | | | |  | |  | |  | |  | ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。  ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。  ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。  ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 | |  |  |  |  |
| ■中間申告　[進行状況の整理・目標の修正等] | | | | |
| チームワーク行　動  段階に〇　を  記　入 | Ⅰ段階 | | | チームワーク行動に関する着眼点 | | 重点 | Ⅱ段階 | チームワーク行動に関する着眼点 | | 重点 | | Ⅲ段階 | | チームワーク行動に関する着眼点 | | | 重点 | チームワーク行動における重点項目その他の取組状況 | | | 評価 |
| 相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている | | | | |  | 児童生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている | | |  | | チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している | | | | |  |  | | |  |
| 諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け協力して取り組んでいる | | | | |  | 諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる | | |  | | 諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している | | | | |  |
| 教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとしている | | | | |  | チームで協力して教育活動等の経験の蓄積に取り組んでいる | | |  | | 教育活動等の経験を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている | | | | |  |
| 直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している | | | | |  | 管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している | | |  | | 広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している | | | | |  |
| 研  修 | （目標・計画） | | | | | | | | （成果・課題） | | | | | | | ※ チームワーク行動については、当該年度に取り組もうとする重点項目２つに○を記入する。  ※ 自己評価欄については、「実績」及び「行動プロセス」について、「行動プロセスに関する着眼点」を  踏まえ、領域ごとに総合的に自己評価を行い、記入する。  ※ 修正申告及び修正評価欄については、達成状況申告及び自己評価が基準日前に行われた場合であって、  基準日現在において状況が変わった場合に限り記載する。 | | | | | |